

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	法人としての理念・方針は掲げているが、事業所の独自方針を掲げるには至っていない状況。採用スタッフもほぼ未経験者であったことから、法人理念を周知することを優先としていた。開設から1年経過し、法人理念も浸透している状況であるため、GHスタッフが認知症ケア実践者としての理念を考える機会を作りたい。	スタッフ一人ひとりが、認知症ケア実践者としてこの一年のサービスを振り返り、今後も大切にしていきたいことを理念として掲げることができる	①ミーティングや研修の機会を使って、認知症ケアにおいて自分たちが大切にしていることを話し合う②各ユニットでの話し合いの結果をユニット理念とし、実現のための方針を皆で検討し決定する③スタッフ皆で意識できるよう、目に付く場所へ掲示する	12 か月	
2	13	作成担当者以外のスタッフはほぼ介護未経験者であったことから、ケアプラン作成に関する知識が不十分である状況。アセスメントやカンファレンスでの関わりは今後も継続とし、新たにモニタリングの視点も養っていきたい。	スタッフ一人ひとりが、ケアプラン作成の一連の流れを理解し、アセスメント～モニタリングまで実践できる	①ミーティングや研修の機会を使って、モニタリングの視点を身につける②作成担当者は、カンファレンス前にご利用者担当者とともにケアプランを振り返り、モニタリング等の事前準備を丁寧におこなう	12 か月	
3	2・16	開設して一年を経過し、地域との関係も築きつつある状況。これからは、積極的に地域に出向き、地域の方々からも声をかけて頂けるような関係を築き、安全に安心して暮らすといった防災の視点も踏まえて、同じ地域の住民としてかかわりたい。	グループホーム都の杜が地域の方々の安心の拠り所となるようなかかわりができる	①事業所で育てたお花や野菜を近隣の喫茶店や地域の方々へお配りし、交流の機会を増やす②近隣の高校へボランティア依頼をおこない、認知症という病気を身近に感じてもらえる機会を作る③自治会長を通して、双方の防災訓練における協力関係を作る	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他(管理者・ユニットリーダーが話し合い作成したものを、全スタッフへ回覧し意見を求め完成させた)
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他(今後の展開を尋ねられ、事業所としての方向性を伝えたところ、そのまま次のステップへ期待する内容として掲載されていた)
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他(管理者・ユニットリーダーが話し合い作成したものを、ユニットミーティングで全スタッフと話し合い周知した)